

令和元年版

東松島市のかんきょう

～ 東松島市環境白書～

東松島市

復興から新たな発展へ

東北SDGs 未来都市サミット「気候非常事態宣言」

東日本大震災からの復興に向け、皆様から温かいご支援をいただいておりますこと、心から感謝申し上げます。

令和2年1月16日秋田県仙北市角館交流センターで第2回東北SDGs 未来都市サミットが開催され、郡山市より提案された「気候非常事態宣言」がサミットに参加した5市町で採択されました。

気候非常事態宣言とは、地球温暖化などの気候変動を人類にとっての「非常事態」として、具体的な対策に取り組むことを宣言するものです。

2016年にオーストラリアの自治体デアピンが初めて宣言。その後、欧州を中心に広がり、23カ国1000を超える自治体や各地の大学が宣言している国際的な宣言です。

日本では、長崎県壱岐市が、2019年9月に国内初の宣言を行い、次に神奈川県鎌倉市が行っており、今回で3例目になります。

東北SDGs 未来都市サミット「気候非常事態宣言」全文

近年、我が国を含め全世界的で様々な異常気象が観測されておりWMO（世界気象機関）は、一連の異常気象は、温室効果ガスの増加による長期的な地球温暖化傾向と関係していることを示しています。また、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、温室効果ガスの増加には、私たちの生活や生産活動が大きく関与していることを報告しています。

このような状況に鑑み、私たち、岩手県陸前高田市、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、福島県郡山市は、近年の異常気象が脅威であることを認識し、東北地方から選定されたSDGs 未来都市における持続可能なまちづくりの一環として、相互に連携し、次の活動を含めた対策を講じることをここに宣言します。

1. ごみの排出抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再資源化（リサイクル）、ごみの発生回避（リフューズ）を徹底します。
2. 省エネルギーの推進と併せて、再生可能エネルギーの利用を促進します。
3. 人や社会・環境に配慮した消費行動（エシカル消費）の普及を図ります。
4. 各都市の環境、課題に応じて、地球温暖化防止に資する取組を推進します。

本書は、平成30年度における本市の環境の状況及び環境政策の状況をまとめたもので、SDGsを進める上で基礎的なデータとなるものです。

本市の恵み豊かな自然を保全し、良好な環境を次世代に継承していくためには、市民一人ひとりの環境に配慮した行動が重要です。本書が環境に配慮した行動の取組みの一助となれば幸いです。

令和2年2月

東松島市長 渥美 巖

— 目 次 —

第1章 市の概要

1. 市の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
2. 東松島市環境基本計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

第2章 「共生」 人と自然が共に生きるまち

1. 身近で良好な自然環境創出・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

第3章 「参画」 環境保全及び創造の推進

暮らしやすい安全な生活環境

1. 水 質・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
2. 騒 音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
3. 大 気・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

環境にやさしいまちづくりの推進

1. 地球環境問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

第4章 「循環」 持続可能な循環型社会の構築

1. 廃棄物発生予測と現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

第5章 資 料

1. 環境苦情調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
2. 各種測定データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・52
3. 環境基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
4. 用語の説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75